

「後期高齢者医療費・窓口負担2割化反対」に向けて 大野城市と懇談を実施

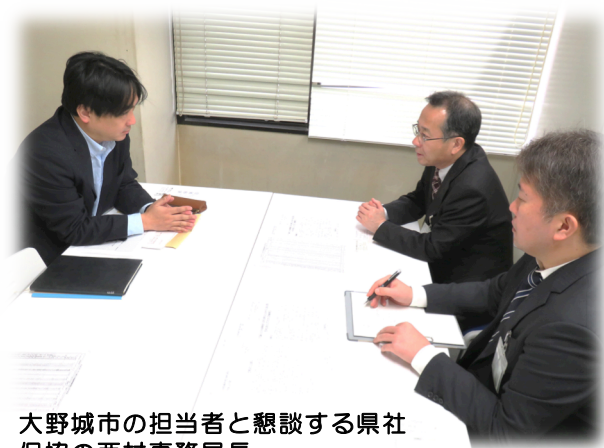
福岡県社保協では、1/30の福岡県後期高齢者医療広域連合議会で、窓口負担割合2割化に反対する意見書採択をめざして、後期高齢者連合議会議員（自治体首長など34人）との懇談をすすめています。

1/16に大野城市に出向き、請願の趣旨説明と意見交換を行いました。懇談の冒頭、対応した岩瀬部長（長寿社会部長）より「後期高齢者の負担割合が高くなるということは、非常に大変だ」という認識はあります。国民皆保険制度を守る意味でも、制度の安定は重要だと思います」という表明がありました。

社保協からは「後期高齢者保険料の負担軽減措置の廃止、消費税増税、年金引き下げなど高齢者をとりまく環境が厳しくなる中で、2割化は高齢者が医療機関にますますかかりづらくな

り、健康にも影響します。ぜひ請願趣旨に賛同してほしい」という要望を行いました。

市担当者は、懇談の趣旨を広域連合議会の議員でもある市長に伝えること、内容については、検討するというので、懇談を終了しました。



大野城市の担当者と懇談する県社保協の西村事務局長

福岡県後期高齢者医療広域連合議会へ傍聴参加をお願いします

1. 日時 2019年1月30日（水）13:00～宣伝、14:00～16:00 傍聴
2. 場所 福岡県自治会館 2階 大会議室
3. その他 議会はどなたでも自由に傍聴可能です。当日13時に集合し会場前でプラカード等を使い広域連合議員にアピールします。ご参加ください。

2月3日 「国保滞納・差し押さえ学習会」を開催します



1. 日時 2019年2月3日（日）13:30～17:00 ※定員100名です
2. 場所 福岡センタービル 10階会議室・参加費500円
3. 講演 「国民健康保険の成り立ちから県単位化まで」（筑紫女学園大学教授・池田和彦氏）、
「国保料滞納と差し押さえ問題」（福岡南法律事務所弁護士・國嶋洋伸氏）、
「各地の滞納・差押え相談実例から」（滞納処分全国対策会議副代表・仲道宗弘氏 他）